



# 国鉄倉吉線アーカイブス



## ■倉吉線の歴史■

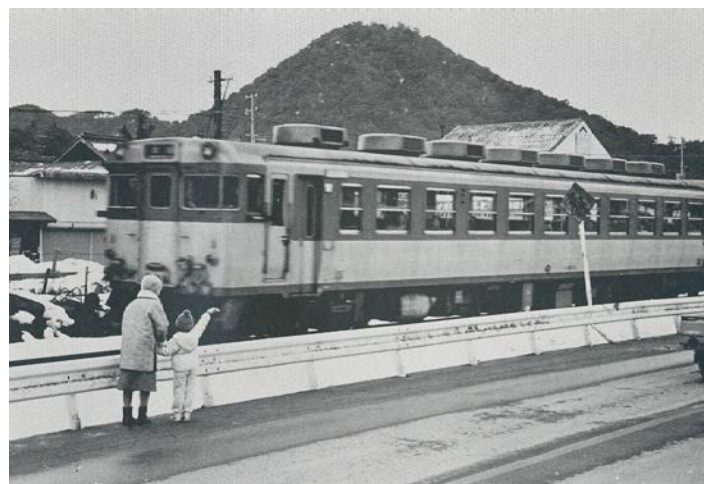
国鉄倉吉線は1912年(明治45年)、当時の上井駅(現:倉吉駅)と市街地の倉吉駅(後の打吹駅)を結ぶ「倉吉軽便線」として開業したのが始まりです。1941年(昭和16年)には倉吉～関金(せきがね)間11.0kmが延伸開通。1958年(昭和33年)には関金～山守(やまもり)間4.8kmが延伸開通しました。1972年(昭和47年)1月に倉吉駅を打吹駅に改称し、同年2月に上井駅を新駅舎完成にあわせて倉吉駅に改称致しました。

改正鉄道敷設法により中国山地を越え、姫新線の中国勝山駅(岡山県)まで延伸の計画(南勝線)があり起工式も行われましたが、並行するバスやマイカーの普及に勝てず建設が放棄されました。

国鉄倉吉線も、整備が進んだ道路を走る運行本数の多いバスの競合には敵わず、1981年(昭和56年)9月に国鉄再建法による第1次特定地方交通線に選定されて全区間の廃止が確定、1985年(昭和60年)3月31日の山守駅22時7分発、倉吉行き最終列車を最後に72年の歴史に幕を下ろしました。

## ■倉吉線年表■

- 1912年(明治45年)6月 倉吉軽便線として上井～倉吉間(4.2km)が開通
- 1912年(大正元年)10月 上灘駅開業
- 1922年(大正11年)9月 軽便線の呼称廃止により倉吉線に改称
- 1941年(昭和16年)5月 倉吉～関金間(11.0km)が延伸開通  
西倉吉駅、小鴨駅、上小鴨駅、関金駅が開業
- 1958年(昭和33年)12月 関金～山守間(4.8km)が延伸開通  
泰久寺駅、山守駅開業
- 1972年(昭和47年)1月 倉吉駅を打吹駅に改称
- 1972年(昭和47年)2月 上井駅を倉吉駅に改称
- 1974年(昭和49年)4月 蒸気機関車の運転を廃止し、ディーゼル機関車へ  
4月28日米子～関金間でSLさよなら列車運転
- 1981年(昭和56年)9月 第1次特定地方交通線として廃止を承認
- 1985年(昭和60年)3月 全線を廃止しバス路線に転換



倉吉のシンボル、打吹山をバックに走る通勤・通学列車(上灘～打吹間)

## ■倉吉線データ■

- 路線総延長距離:19キロ810メートル(倉吉～山守間)
- 路線駅数:9駅(倉吉・上灘・打吹・西倉吉・小鴨・上小鴨・関金・泰久寺・山守)
- 路線高低差:180メートル(倉吉駅海拔11メートル、山守駅海拔191メートル)
- 路線再急勾配:25/1000パーミル※(上小鴨～関金間、関金～泰久寺間)
- (※1,000メートル進む毎に25メートル登る)

- 橋梁数:11か所
- 架道橋:7か所
- 踏切数:46か所



## 運行列車

- 気動車、客車列車(SL、ディーゼル機関車牽引)
- ※客車列車は泰久寺駅、山守駅に機関車の付替施設が無かった為、倉吉～関金間のみ運行

発車時刻表					
下り			上り		
時刻	列車名	行先	時刻	列車名	行先
6-10	混	関金	6-13	混	倉吉
6-39	混	山守	7-38	混	倉吉
8-03	混	山守	8-15	客	倉吉
9-58	客	西倉吉	9-00	混	倉吉
12-09	混	山守	10-59	混	倉吉
14-14	混	西倉吉	13-07	混	倉吉
16-05	混	山守	15-02	混	倉吉
17-06	混	山守	17-24	混	倉吉
18-08	混	山守	18-20	客	倉吉
19-25	客	関金	19-06	混	倉吉
21-35	混	関金	20-35	混	倉吉

当時の打吹駅の時刻表



当時の泰久寺駅舎



# ウォーキングコースとして再生した現在の国鉄倉吉線

1985年(昭和60年)3月31日で廃線となった国鉄倉吉線の線路跡は現在、倉吉～上灘間の一部を遊歩道として活用し、上灘～打吹間の一部は「緑の彫刻プロムナード」として整備、日本を代表する彫刻家の作品を設置して倉吉市の野外美術館の役割を担っています。当時の打吹駅の跡地には「倉吉線鉄道記念館」が建てられ、館内には当時の貴重な写真や資料が展示されており、屋外には当時活躍した蒸気機関車「C11型75号機」が静態保存されています。また、西倉吉～上小鴨間は倉吉東郷自転車道線(通称:伯耆自転車道)の一部として活用され、3.9kmのコースは春になると見事な桜並木となりサイクリングやトレッキングを楽しむ人の目を楽しませてくれます。そして関金～山守間の一部は廃線後もレールや駅ホーム、トンネルが残り、約10年前に全国的にも珍しい「廃線跡トレッキングコース」に再整備され倉吉の新たな観光素材として生まれ変わりました。長閑な農村風景を過ぎれば、郷愁漂う泰久寺駅跡ホームと当時を偲ぶ駅の銘板、さらに進むと幻想的な竹林を抜け、探検気分の山守トンネルと風景の変化に富んだコースが特徴で、レールの上を歩きながら非日常の風景を楽しむことが出来る人気のトレッキングコースです。



日本の原風景を歩く



ホーム、駅銘板が残る泰久寺駅跡



幻想的な竹林を抜ける



トレッキングツアー限定公開の山守トンネルでは懐中電灯を照らしながら探検気分を味わえます



倉吉線  
鉄道記念館

倉吉線鉄道記念館横に保存されているC11蒸気機関車と、館内に保存の貨物入換え用スイッチャー機関車

